

プラザ通信

Bic Akita Plaza Communication

あきた企業活性化センターより

デザインの はじめ方

①「デザイン？」

当センターでの産業デザイン支援センター事業が始まって4か月が経ちました。これまでに県内の様々な企業様から「デザインの導入・活用」について多くのご相談をいただいております。皆様によるデザインへの高い関心を実感しています。

そこで、あきた産業デザイン支援センターではこれから数回にわたりデザインを様々な側面からご紹介させていただきます。

第一回目は「デザイン」という言葉について。テレビや雑誌で取り上げられる「デザイン」は車や家電、包装等で、「カッコいい色と形」の事と理解されがちです。実は「デザイン」の役割はそれだけではありません！

■「デザインデザインっていうけれど」

「ウェブデザイン」、「ファッションデザイン」、「パッケージデザイン」、「コミュニケーションデザイン」、「ライフデザイン」、「ランドデザイン」、「アーバンデザイン」、「ユニバーサルデザイン」etc…。

デザインの付く言葉は多いのですが、単語としての「デザイン」は一般的には次の様な意味を持ちます。

【デザイン】①下絵。素描。図案。②意匠計画。生活に必要な製品を製作するにあたり、その素材・機能及び美的造形性などの諸要素と、技術・生産・消費面からの各種の要求を検討や調整をする総合的造形計画。

要約すると「必要な製品の製作にあたっての、諸要素と要求の検討や調整」といえます。

別の言い方をすると「最適解」でしょうか。形や色だけを示す言葉ではないようです。

■「アート的一种でしょう？」

そうした意味合いで使われている事もあります。デザイナーとアーティストは用いる「技術」が同じ場合もありますが明確な違いもあります。アートとは製作者自らの思いを表現したものであり、その受け止め方は個々に委ねられます。

一方でデザインの目的は「あの人にこの思いを出来るだけぶれる事なく伝える」事にあります。

このお菓子の美味しさを、このペンの使い心地を、この車の高性能感を、あるいはこの部品の信頼感を伝えたい。

伝えたい人がいて、それを伝える為の「検討・調整」からその結果の「最適解」までがデザインです。

■「付加価値」と「価値」

「デザイン」とはデザイナーに格好良い絵を描いて貰って「付加価値」をつける事、これも確かに「デザイン」です。

しかし、本当に十分に機能を満たしているのなら、あるいは本当に美味しいと思ってもらえる味があるのなら、まずはその「価値」を伝えましょう。本来の価値を伝える努力をしても伝わらなかつた・売れなかつたものは「実は機能を満たしていなかつた」か「伝え方を間違えた」のが原因です。

前者はメーカー側の改善で、後者はデザインの改善で状況を変える事が出来ます。



「価値を伝えるデザイン」と「付加価値を加えるデザイン」
御社に必要なのは、どちらのデザインでしょうか？

お問い合わせ先

あきた産業デザイン支援センター

TEL 018(860) 5610 E-MAIL info@idsc-akita.net URL <http://idsc-akita.net>